

輪

vol.
96

北九州市立医療センター
広報誌「輪」

ご自由
にお持ち
ください

Kitakyushu Municipal Medical Center Communication Paper



看護管理室と師長の皆さん

がん特集

膵がん診断と治療の最前線

ロボット手術が切り拓く未来

◎コメディカル紹介

診療支援部リハビリテーション技術課

～がん患者のリハビリテーションについて～

標榜診療科一覧

内科	呼吸器内科	小児科	肛門外科	整形外科	小児外科	放射線科
肝臓内科	消化器内科	外科	肝臓外科	形成外科	皮膚科	病理診断科
血液内科	循環器内科	消化器外科	胆のう外科	リハビリテーション科	泌尿器科	救急科
感染症内科	腫瘍内科	乳腺外科	痔臓外科	脳神経外科	産婦人科	麻酔科
心療内科	内分泌・糖尿病内科	内分泌外科	食道外科	呼吸器外科	眼科	歯科
精神科	緩和ケア内科	大腸外科	胃腸外科	心臓血管外科	耳鼻咽喉科	

基本理念

わたしたちは公共的使命を自覚し心のこもった最高最良の医療を提供します

基本方針

1. 患者さんの権利 個人情報保護し 患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに 患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし 安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識・技術を習得し あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し 地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます
7. 職員が誇りを持ち、安心して働ける職場環境をつくります

編集後記

広報誌「輪」編集長 高島 健

あけましておめでとうございます。今年も輪をよろしく
お願い申し上げます。

さて、巳年です。巳から連想する言葉といえば、脱皮
ではないでしょうか。その抜け殻は古くから健康運や
金運が上昇する縁起物とされ、財布に入れたり家の中
に飾ったりされています。生きている蛇に出会う機会は
激減しましたが、抜け殻は春から夏にかけて見つけ
やすいと言われてしますので、暖かくなったら山歩きを
始めてみようと思います。

輪

vol.96

発行日：2025年1月1日



地方独立行政法人 北九州市立病院機構
北九州市立医療センター

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借二丁目1番1号
TEL.093-541-1831(代表) FAX.093-533-8693
外来予約センター 093-533-8640

[月～金 9:00～16:00]紹介状または二次検診初診受付
ホームページ <https://www.kitakyu-cho.jp/center/>



ホームページ



Facebook



Instagram



X

※本紙では撮影用にマスクを外しています。

知って得する

病院の「か」か「り」方



MRI検査を受ける前に知っておいてほしいこと!

MRI検査では、強い磁石を使います。そのため、体や服に金属があると検査に影響が出たり、危険が生じることがあります。安全で正確な検査のため、ご協力をお願いします。不安や疑問があれば、どうぞお気軽にご相談ください。

ペースメーカーや歯科矯正器具など、体内に金属や医療器具がある場合は、事前に検査可能かの確認が必要です。
この確認には時間がかかることが多いため、検査日より前にスタッフへお知らせください。



付けないで ください!



膵がん

診断と治療の「最前線」

膵臓は、消化酵素を分泌して食べ物を分解したり、インスリンなどのホルモンを分泌して血糖値を調節したりする重要な臓器です。膵がんは、その膵臓の組織にがん細胞が増殖することによって発生します。

膵がんの進展と症状

膵がんは初期にはほとんど自覚症状がなく、早期発見が難しい病気です。膵臓は腹部の奥に位置しており、がんが小さいうちは周囲の臓器に影響を与えにくいので、症状が現れにくいのです。しかし、膵がんが進行すると膵管が狭窄し、膵液の流れが悪くなることで膵管拡張や膵炎を引き起こし、腹痛や背部痛、腹部膨満感を感じることがあります。膵がんによって新たに糖尿病が発症したり、既存の糖尿病が悪化することもあります。これらの症状が現れた場合は、早期に検査を受けることが重要です(図1)。

膵がんの検査

膵がんが疑われる場合、CTスキャンやMRIを使用して膵臓の腫瘍の位置や大きさを確認し、肝臓や腹膜、肺への転移の有無を調べます。さらに、超音波内視鏡(EUS)を用いて胃や十二指腸

から膵臓のエコーを行い、腫瘍の詳細な観察を行います。EUSで腫瘍を確認した後、針を使って腫瘍から組織を採取し、膵がんの確定診断を行います。また、腫瘍が非常に小さく、EUSで針を刺すことができない場合には、内視鏡

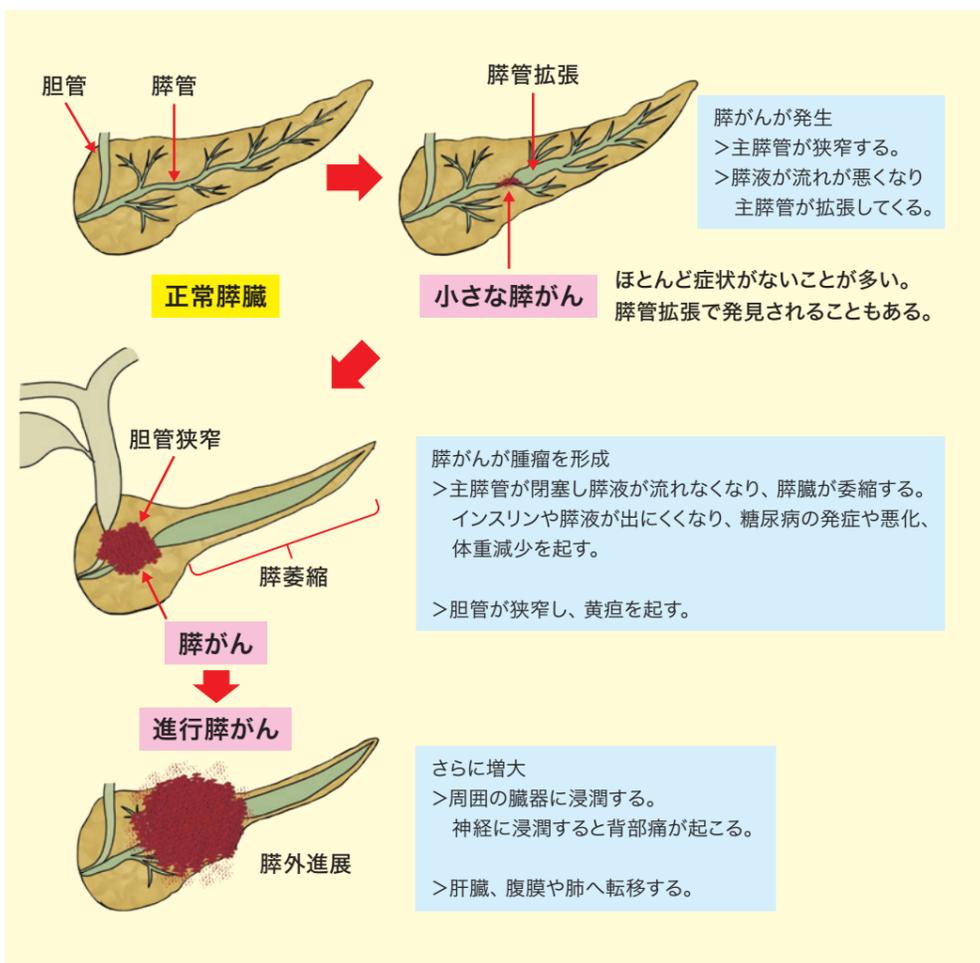


図1：膵がんの進展と症状

膵がんの診断と治療方針

治療方法の選択には、腫瘍の進行度が非常に重要です。膵癌取り扱いは規約では、膵がんの進行度をステージI、II、III、IVに分け、手術適応の視点から切除可能、切除可能境界、切除不能の3つに分類しています。

●**切除可能膵がん** 膵臓周囲の大きな血管にがんがそれほど浸潤しておらず、手術で完全にがんを切除できる可能性が高いものを指します。

●**切除可能境界膵がん** 大きな血管にがんが浸潤しており、手術だけではがん細胞が残る可能性が高いものを指します。

●**切除不能膵がん** 重要な血管ががんに浸潤して手術で切除できない場合の局所進行切除不能膵がん、肝臓、腹膜、リンパ節や肺にすでに転移しており、膵臓切除の適応がない遠隔転移による切除不能膵がんの2つの分類があります。

ERCPやEUSは高度な専門的技術を必要とするため、胆膵疾患を専門とする医療機関を受診しましょう。



北九州市立医療センター
外科部長
小 蘭 真 吾

膵がんの治療において、膵がんの根治（完全に治ること）のためには手術が必須ですが、手術だけでは根治を達成することが難しいのも事実です。

そのため、切除可能膵がんと診断されても、すぐに手術を行うのではなく、手術前に化学療法を行うことが、膵がん診療ガイドラインで推奨されています。術前に化学療法を行うことにより、術後の再発リスクを減らすことができます。

また、切除可能境界膵がんにおいては、手術だけではがんが残る可能性が高いため、切除可能膵がんよりも強力な化学療法を手術前に行うことが推奨されます。強い化学療法を行うことで、膵がんが縮小し、重要な血管から腫瘍が外れて、手術でがん細胞が残るリスクを低減させることができます。

局所進行切除不能膵がんと遠隔転移による切除不能膵がんは、手術が困難なため、化学療法が第一選択の治療として行われます。腫瘍の進行状態によっては、放射線療法や重粒子線を併用することもあります。また、これらの治療が効果を上げ、腫瘍が縮小して根治手術が可能となる症例も経験するようになりました。手術の適応外だった患者さんが、がんが縮小し手術可能となった場合に行う手術を「コンバージョン手術」と呼びます。

当院では、膵がんの専門施設として積極的にコンバージョン手術に取り組み、諦めない膵がん治療を提供しています。

膵がんの手術

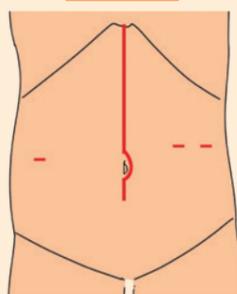
膵頭部に腫瘍がある場合は膵頭十二指腸切除術が、膵体尾部に腫瘍がある場合は膵体尾部切除術が行われます(図2)。以前は、30〜40cmの開腹による手術が一般的でしたが、近年では腫瘍が血管に浸潤していなければ、ロボット手術を用いて小さな切開で手術を行うことが可能です。ロボット手術の最大のメリットは、小さな傷で済むため、術後の痛みが少なく、回復が早いことです。また、ロボットの最先端技術により、手術中は非常に明瞭な3D映像を使用して手術を行い、ロボットの鉗子には手ぶれ防止機能が備わっており、多関節を活用することで精密手術が可能です(図3)。

特に膵頭十二指腸切除術では、膵臓と腸管をつなぐ「吻合」処置が必要となります。ロボットの特性を生かした非常に細かい処置が可能となり、術後の合併症の減少に貢献します。一方で、ロボット手術には高度な技術と訓練が求められます。当院は、ロボットによる膵頭十二指腸切除術および膵体尾部切除術を保険適応で行う認定を受けており、安全かつ確実なロボット手術を提供することに努めています。

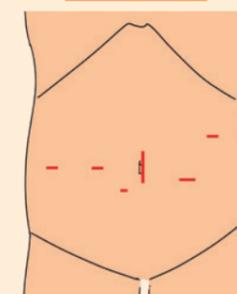
ロボットの利点

- 傷が小さい
- 早期離床が可能
- 痛みが軽い
- 癒着しにくい

開腹手術



ロボット手術



高画質3D映像→拡大視効果
多関節鉗子、手振れ防止機能→繊細かつダイナミズムな手術が可能

拡大された映像で、膵臓と小腸の吻合をていねいに行うことが可能

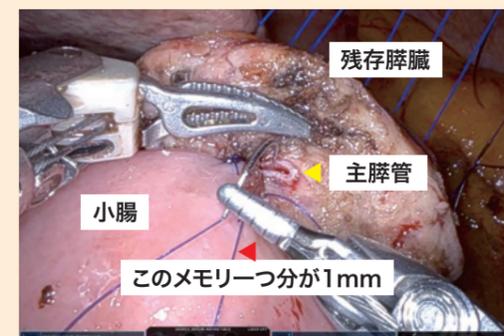


図3：ロボット手術の有用性

膵がんの術後

手術を行った後も、再発を予防するために抗がん剤を用いた術後補助療法が推奨されます。術後補助療法が終了した後も、外来で定期的に検査を実施し、再発の早期発見に努めます。

最後に

当院は、日本肝胆膵外科学会より肝胆膵外科の手術を安全に施行できる肝胆膵外科高度技能専門医を育成す

る施設として認定されています。高度技能指導医および専門医が4名在籍しており、ロボット手術においても、ロボット支援下膵頭十二指腸切除術および膵体尾部切除術のプロクター(指導者)が在籍しています。これにより、安全かつ確実な手術を行うことはもちろんのこと、決して諦めない膵がん治療の提供に努めています。

膵がんの診断および治療に関して、何かお困りのことがありましたら、ぜひ当科にご相談ください。

PROFILE



小菌 真吾

肝胆膵外科を担当しております小菌真吾です。私は膵がんを専門に診療しており、『あきらめない膵がん治療』をモットーに、膵がん根治を目指す患者様に最も効果的な外科治療を提供するよう努めています。また、東京医科大学病院で多くのロボットによる膵がん手術を経験し、ロボット支援膵切除術のプロクター(指導医)資格も取得しています。体に負担の少ないロボット手術を提供していますので、肝臓・胆のう・膵臓の手術が必要な方は、ぜひご相談ください。

専門医等

- ・日本外科学会専門医・指導医
- ・日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
- ・日本肝胆膵外科学会高度技能専門医
- ・日本内視鏡外科学会技術認定医(膵臓)
- ・ダヴィンチサージカルシステム術者資格認定
- ・日本肝胆膵外科学会ロボット支援膵頭十二指腸切除プロクター
- ・日本肝胆膵外科学会ロボット支援膵体尾部切除プロクター
- ・臨床研修指導医

学会関係

- ・日本外科学会
- ・日本消化器外科学会
- ・日本肝胆膵外科学会
- ・日本内視鏡外科学会
- ・日本膵臓学会
- ・日本胆道学会
- ・日本臨床外科学会
- ・日本ロボット外科学会

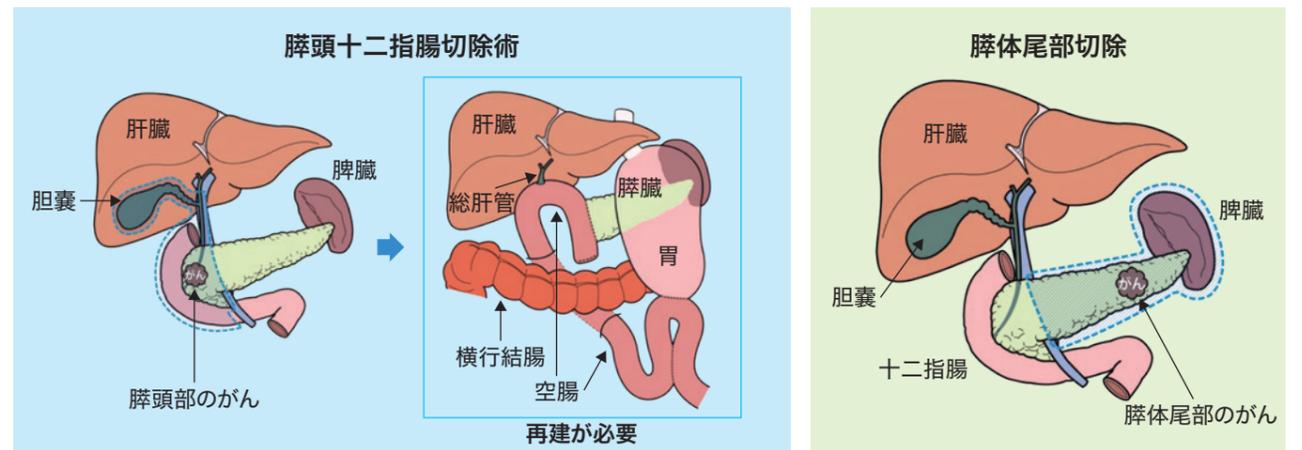


図2：膵がんで行われる手術

健康で輝ける年へと



北九州市立病院機構
理事長

なかにし よいち
中西 洋一

「アスクレピオスの杖と巳の年」

ギリシャ神話に登場する太陽神アポロンの息子アスクレピオスは伝説の名医です。彼は一匹の蛇が巻き付いた杖「アスクレピオスの杖」を持っています。蛇は再生と治癒のシンボルとされ、この杖は医療・医療の象徴として世界保健機構(WHO)、世界医師会や、日本医師会のロゴを始めとして、医療の世界で広く用いられています。

一方、三千年以上前に古代中国「殷」において定められた暦は、十二支つまり「えと」という形で現代に伝わっています。今年のえとは巳。古来、巳年は「復活と再生」「不老長寿や強い生命力」につながる年と考えられています。

西洋においても、東洋においても、蛇は医療や生命の象徴とされてきたということには、歴史の必然を感じてしまいます。

新年に際し、医療センターも日々の研鑽、改善を怠ることなく、さらには、この杖とえとの力を得て、しっかりと市民の命を守って参りたいと思います。



北九州市立医療センター
院長

なか の とおる
中野 徹

新年のご挨拶

令和7年新春のご挨拶を申し上げます。北九州市立医療センターは地方独立行政法人化後7年目を迎えました。

独法化後、患者さん第一の視点から入退院センターや予約システムの充実を図ってまいりました。また、救急部とベッドコントロール室の立ち上げにより、断らないスムーズな急患受け入れが可能となっており、待ち時間も様々な取り組みで短縮されています。

本年も地域がん診療連携拠点病院としてタウインチ手術、ゲノム診療、治験推進を含め高度ながん診療で県下屈指の治療成績は勿論、がん患者さんのために国が求める精

神的ケア、就労支援、アピアランスケア、グリーンケアなど、当院の標語「生きるを支える」を目標に診療を誠実に行ってまいります。安心して任せいただける小児周産期医療を地域に提供し、また質の高い生活習慣病診療、高度な整形外科鏡視下手術を引き続き行ってまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。



コメディカル紹介

診療支援部リハビリテーション技術課

がん患者のリハビリテーションについて

がんになると、がんによる疼痛やがん悪液質、食欲低下、息苦しさ、倦怠感により体力の低下や活動量の低下、日常生活能力の低下をきたしやすくなります。

また、手術や薬物療法、放射線治療を受ける事による身体機能の低下が生じ、その結果日常生活に支障を来し、家事や仕事、学業など社会生活への復帰が難しくなります。

このようにがんを患うことによる身体機能の低下を予防、回復、維持することを目的にがん患者のリハビリテーションは実施されます。

がん患者を対象としたリハビリテーションには、診断された直後から始める「予防的リハビリテーション」、治療と並行して受ける「回復的リハビリテーション」、再発／転移の時期には「維持的リハビリテーション」、症状緩和を中心とした医療が行われるとき

には「緩和的リハビリテーション」と、がんの治療の時期に応じて、リハビリテーション医療の目的や役割が異なります。

リハビリテーションを行う場合、実際に患者さんの状態、状況に応じて、筋力増強、関節可動域改善、呼吸・循環機能改善、歩行・日常生活動作、嚥下・発声のトレーニングを行っています。がん患者さんのリハビリテーションを行うためには一定の研修を受け資格が必要となります。

当院リハビリテーション技術課ではスタッフ全員がこの資格を有し、質の高いリハビリテーションが提供できるように日々の業務に取り組んでいます。

地域がん診療連携拠点病院のリハビリテーション技術課として今後地域と連携を図りながら、がん患者さんを地域全体でフォローアップできる環境を構築していきたいと思っています。



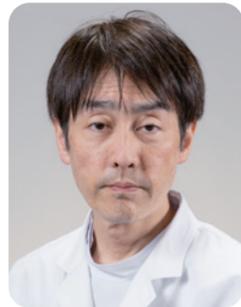
手術後翌日、2日目のリハビリ



ベッドからの起き上がり指導



治療後の発声トレーニング



循環器内科
主任部長

ありむら けんいち
有村 賢一

Doctor Question ドクター

11月26日が「いい風呂の日」であることをご存じでしょうか？入浴は疲労回復や肩こり、腰痛などをやわらげ、リラクゼーション効果などが期待できますが、例年11月から4月にかけての寒い季節、入浴中に気を失い、浴槽の中で溺れる事故が多くなります。厚生労働省「人口動態統計」によると、令和4年一年間に家や居住施設の浴槽で65歳以上の高齢者が5,824人亡くなっています。一方、交通事故による死者数は2,154人で、家や居住施設の浴槽では交通事故の2倍以上の方が亡くなっています。この原因となっているのが「ヒートショック」と言われるもので、暖かい所から寒い所への移動などで、「温度の急激な変化で血圧が大きく上下動することによって起こる健康被害」のことです。

予防するには…

1 温度差に注意する

室内や脱衣所とお風呂の温度差が10℃以上開くと、ヒートショックのリスクが高まると言われています。温度差を少なくする工夫を紹介します！

●脱衣所にファンヒーター等の暖房器具を設置し、暖める。

●高い位置からシャワーで湯船に給湯すると蒸気で浴室全体が暖まる。

●入浴する5分程前から浴槽のフタを開けておくと湯気が上がり、浴室全体が暖かくなる。お湯の温度もやや下がり、温度差が少なくなる。

●湯温は41℃以下に設定すると温度差が10℃以上開く危険が少なくなる。また、身体全体を芯から温め、湯冷めしにくい。

2 入浴前後にコップ1杯の水を飲む

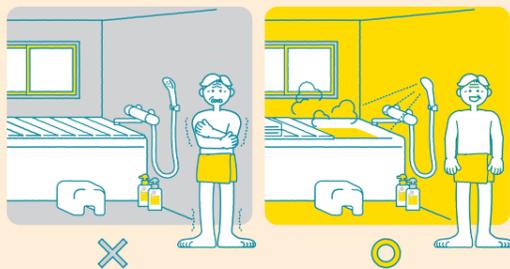
入浴中は汗をかき、脱水になりやすく、血液がドロドロになり、脳梗塞や心筋梗塞を起こすリスクが高まります。入浴前後に水分補給をしましょう。

3 食事前・飲酒時の入浴を控える

●食後や飲酒時は血圧が下がり、入浴することでさらに血圧が下がります。
●食後1時間程度、飲酒後は酔いがさめるまで入浴を控えましょう。

4 ゆっくりとお風呂から出る

お湯に浸かり体が温まると、血管が拡張し血圧が低下します。その状態で急に立ち上がると、めまいや失神を起こすことがあるので気を付けましょう。

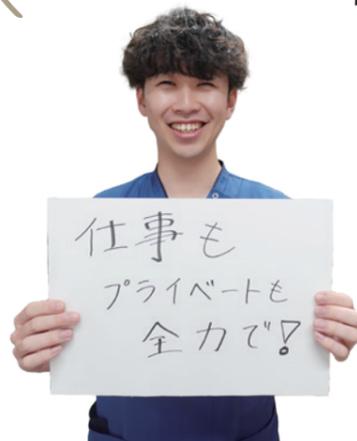


ヒートショックとは

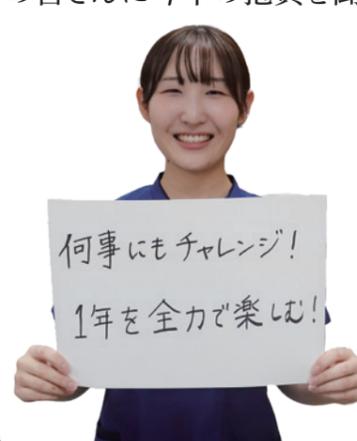
HAPPY NEW YEAR

年男年女

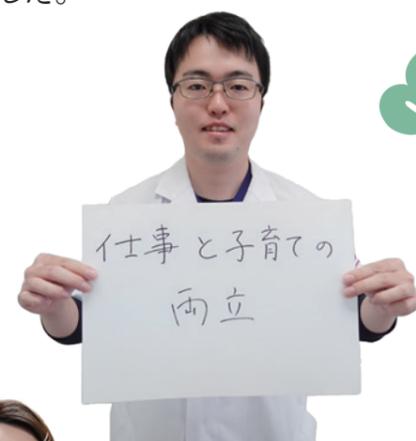
今年巳年。あなたが主役！
年男年女の皆さんに今年の抱負を聞きました。



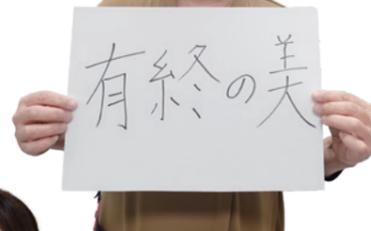
放射線技術課
まつもと じょうたろう
松本 丈太郎



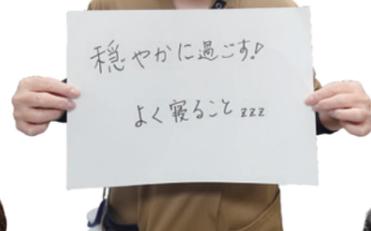
臨床検査技術課
ゆん ずん み
尹 淳美



血液内科
いりふね ひでとし
入船 秀俊



看護部
かたしま まりえ
片島 万里枝



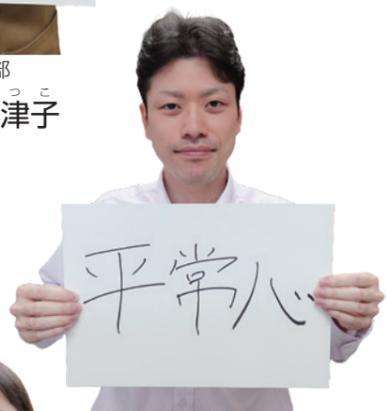
看護部
しみず みつこ
清水 美津子



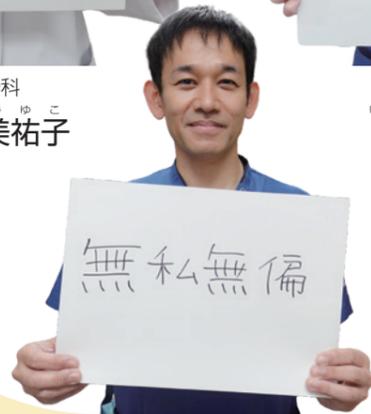
麻酔科
すえなが みゆこ
末永 美祐子



臨床工学課
いずみだ あゆみ
泉田 采優光



医療情報管理室
かめたに りょうへい
亀谷 遼平



リハビリテーション技術課
ふくしま ひろし
福島 浩史



栄養管理課
おおやま あいこ
大山 愛子



医療法人 山田医院

福岡県行橋市天生田940-1
TEL:0930-22-1195

診療科目

内科(放射線科)
小児科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	-
15:30~18:30	●	-	●	-	●	-	-

※木・土曜日は9時~13時まで



地域の方へ、患者さんへのメッセージ

父の遺志を継ぎ、微力ながら、地域の支え、一人一人の病気の予防、放射線科診断専門医としての画像診断や様々な疾患の知識を使う事での、癌の早期発見やトリアージを素早く行える事を心がけております。

又、当院では一人一人に寄り添った、患者様からの“声”を大事としております。高齢の方々から未満児までファミリークリニックとして外側からの診察だけでなく、内なる声を大事としていますので、病院ではなく、気軽に相談出来る医院として来院させて頂けたら幸いです。



院長 黒川 絢 医師

当院について

前院長(父)が1989年2月1日に開院し、33年間、地域に寄り添った診療を行ってまいりました。

2022年11月に前院長の逝去に伴い、後任として2022年12月より、私、黒川 絢が院長として就任致しました。小児科外来、大人の慢性疾患、生活習慣病の指導、癌患者さんへのケアに加え、現在、近隣の医療機関との連携のもと、画像診断CT、MRIでの診断も行っております。

連携病院のご紹介



医療法人 慈恵会 慈恵曽根病院



北九州市小倉南区沼本町4丁目2-19 TEL:093-471-2881

診療科目

内科・外科・整形外科・循環器内科・消化器内科・リハビリテーション科・リウマチ科・消化器外科・肛門外科・内視鏡外科・放射線科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	-
13:00~17:00	●	●	●	●	●	-	-



院長 市岡 泰子 医師

当院について

当院は昭和47年に開設し、医療法人慈恵会の一員としてグループ病院及び介護老人保健施設と共に、地域の皆様が、いつまでも健康で生きがいのある毎日を送っていただけるように、病気の予防から治療、リハビリテーション、さらに退院後の在宅医療福祉サービスまで『医療』と『介護』と『福祉』が一体となった、より価値のあるサービスを全力で提供しています。

地域の方、患者さんへメッセージ

『地域に根を張り50年 これまでもこれからも頼れる身近な病院へ』
当院は一般病床・地域包括ケア病床合わせて55床の病院です。
急病の診断、治療だけでなく、在宅復帰に向けた医療や介護サービスの調整など、様々な支援を行っています。

また、急性期病院での手術後や、保存療法の患者様に対しての運動器リハビリテーション、心臓血管疾患の再発予防と体力強化を目的とした心臓リハビリテーションを提供しています。

「緩和ケア研修会」を開催しました



令和6年11月9日(土)に第17回緩和ケア研修会を開催しました。本研修会は、緩和ケアの知識、技術、態度を習得し、診断時からの適切な緩和ケアの提供を目的としています。今回は、医師を中心に、看護師、社会福祉士が参加し、多職種による積極的な意見交換が行われました。受講者の皆様からは、「患者さんの疑似体験から患者さんの気持ちを理解でき、医療者としての声掛けの大切さを学ぶ機会となった」「グループワークで話し合った際、多職



種の方のいろんな意見を聞く事ができて、勉強になった」「今日の学びを今後に活かしていきたい」などのコメントをいただきました。少しでも実践に繋がると幸いです。今後も研修プログラムの内容や運営の充実に努めてまいります。

市民公開講座



- 1 「糖尿病について」
◎内分泌代謝・糖尿病内科 主任部長 足立 雅広
- 2 「塩分減らして高血圧予防」
◎栄養管理課 高橋 由衣
- 3 「病院のかかり方～マイナ保険証の利用について～」
◎経営企画課医事係

●時間 14:00~15:30(開場 13:30)
●場所 総合保健福祉センター(アシスト21) 2階講堂
北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号



市民公開講座
ホームページは
←こちら

